

高知工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	日本語 I
科目基礎情報				
科目番号	A101	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	SD 基礎教育・一般科目	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	4	
教科書/教材	「みんなの日本語 初級Ⅱ」本冊、書いて覚える文型練習帳、標準問題集 (スリーエーネットワーク) 「4技能でひろがる中級日本語カルテット1」(ジャパンタイムズ出版) 「4技能でひろがる中級日本語カルテットワークブック1」(ジャパンタイムズ出版) 「まるごと日本のごとばと文化 初級2 A2 りかい」 「まるごと日本のごとばと文化 初級2 A2 かつどう」 (三修社) 「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」 「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」 (スリーエーネットワーク) その他、教員が適宜準備する。			
担当教員	大沼 敦子			
到達目標				
到達目標 1. 日本語能力参照枠における中級前半・B1レベル (自立した言語使用者) を目指す。 2. 到達度のひとつの目安として、7月に日本語能力試験 (JLPT) N4、12月に日本語能力試験 (JLPT) N3の合格を目指す。 3. 今後、日本語母語話者とともにも高専で各専門科目の授業を受講することを想定し、上級レベルまでの連続性を意識する。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目	日本語能力試験N3程度の文章を読み、理解することができる。専門科目の教科書のある程度、理解することができる。	日本語能力試験N4程度のごく基本的な文章を読み、理解することができる。	左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	1年次の留学生を対象とした日本語初級後半コースである。文型を確実に積み上げながら、その文型で何ができるか (can-do) を明確に意識し、課題遂行能力を高める。関連科目: 日本事情 (1年) 日本語作文 (1年) 日本語会話と聴解 I (1年)			
授業の進め方・方法	教科書のほか、副教材を適宜用いて受講生の知識と運用能力の定着を図る。長期休暇中は「にほんごe-ラーニングみなと」(国際交流基金)を受講し、復習を行う。			
注意点	※受講生のレベル等によって授業で扱うテーマを変更する場合がある。 ※「みんなの日本語初級Ⅰ 第2版本冊」(全25課) 終了レベルでの受講が望ましい。			
授業の属性・履修上の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業内容の説明 来日前研修で勉強した日本語初級前半の復習	日本語の基本的な文構造、語順、疑問文と否定文、品詞について理解している。
		2週	来日前研修で勉強した日本語初級前半の復習	日本語の基本的な文構造、語順、疑問文と否定文、品詞について理解している。
		3週	来日前研修で勉強した日本語初級前半の復習	日本語の基本的な文構造、語順、疑問文と否定文、品詞について理解している。
		4週	来日前研修で勉強した日本語初級前半の復習	日本語の基本的な文構造、語順、疑問文と否定文、品詞について理解している。
		5週	みんなの日本語初級Ⅱ 26課 ～んです ～んですが、～ていただけませんか ～んですが、疑問詞～たらいいですか	1. 相手の状況について説明を求めたり、自分の状況やその理由を説明したりできる。 2. 理由や事情を説明して、丁寧な依頼ができる。 3. 理由や事情を説明して、助言や指示を求めることができる。
		6週	みんなの日本語初級Ⅱ 27課 ～が可能動詞 ～が見えます・聞こえます ～ができます ～しか～ません ～は～、～は～ (対比) 複合助詞	1. できること、できないことが言える。 2. 見える、聞こえるなどの状態が言える。
		7週	みんなの日本語初級Ⅱ 28課 ～ながら～ ～ています ～し、～ (並立) (理由)	1. 同時に行われる継続的な動作が言える。 2. 日常の習慣的な行為が言える。 3. 複数の理由を並べて述べるができる。
		8週	みんなの日本語初級Ⅱ 29課 ～が～ています ～は～ています ～てしまいます (完了) ～てしまいました (遺憾)	1. 事物の状態が描写できる。 2. 行為を完了する、あるいは完了したことが述べられる。 3. 不都合な事態について残念、憤慨に思う気持ちが表現できる。
	2ndQ	9週	みんなの日本語初級Ⅱ 30課 ～てあります ～ておきます (準備) (措置) (放置)	1. 事物の状態について述べるができる。 2. 準備など、将来のために前もってしておくことが述べられる。

		10週	みんなの日本語初級Ⅱ 31課 ～(よ)う(意向形) ～(よ)う(意向形)+とっています まだ～ていません ～つもりです ～予定です	1.自分の意思や計画していることが述べられる。 2.予定が説明できる。
		11週	みんなの日本語初級Ⅱ 32課 ～ほうがいいです ～でしょう ～かもしれません	1.忠告や助言ができる。 2.推量したことを確実さの程度によって言い表せる。
		12週	みんなの日本語初級Ⅱ 33課 命令形 禁止形 「～」と書いてあります/読みます ～は～という意味です ～と言っていました/伝えていただけませんか	1.指示、命令を理解することができる。 2.伝言したり、人の発言を伝えたりすることができる
		13週	みんなの日本語初級Ⅱ 34課 ～とおりに、～ ～あとで、～ ～て/～ないで～(付帯状況) ～ないで、～	1.動作や作業を行うときの基準や規範を示すことができる。 2.二つの動作の前後関係を言い表せる。 3.ある動作をどのような状態で行うか説明できる
		14週	みんなの日本語初級Ⅱ 35課 ～ば(動詞)、～ ～ければ(い形容詞)、～ ～なら(な形容詞/名詞)、～ 疑問詞～ばいいですか ～なら(名詞)、～(話題) 「と・たら・ば・なら」の違い	1.ある事柄が実現するために必要な仮定条件を述べることができる。 2.ある条件下での判断を述べたり、助言や指示を求めたりすることができる。
		15週	まとめ	これまでの学習を振り返り、今後の学習につなげる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	みんなの日本語初級Ⅱ 36課 ～ように、～ ～ように/～なくなります ～ようにします	1.到達目標や努力目標を述べることができる。 2.人の能力及び物事の状況の変化を述べることができる。
		2週	みんなの日本語初級Ⅱ 37課 〈人〉は～に[～を]～(ら)れます 〈人〉は～に〈所有者〉を～(ら)れます 〈物〉が/は～(ら)れます 〈物〉は～によって～(ら)れます	1.人から受けた行為や迷惑に感じた体験を受身表現を使い、話者の視点から話せる。 2.物事の状況や事実を受身表現を使って説明できる。
		3週	みんなの日本語初級Ⅱ 38課 ～のは〈形容詞〉です ～のが〈形容詞〉です ～のを忘れました ～のを知っています ～のは〈名詞〉です	1.ある行為について感想、評価、好き嫌い、上手下手などが述べられる。 2.するべきことをし忘れたということが言える。 3.情報を知っているかどうか確かめられる。 4.伝えたいことを強調して伝えられる。
		4週	みんなの日本語初級Ⅱ 39課 ～て(動詞)～ ～くて(い形容詞)、～/～で(な形容詞)、～ ～で(名詞)、～ ～ので、～	1.ある事柄が原因で、その結果としてある感情や事態が生じたことを説明できる。 2.丁寧に理由を述べたり、弁解したり、事情を説明したりすることができる。
		5週	みんなの日本語初級Ⅱ 40課 疑問詞～か、～ ～かどうか、～ ～てみます 「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.疑問文を文の一部に組み込んで、疑問に思っていることについての感想、判断またはそれに基づく行動が表明できる。 2.やってみようと思うことが言える。
		6週	みんなの日本語初級Ⅱ 41課 ～をいただきます/くださいます/やります ～ていただきます/くださいます/やります ～てくださいませんか みんなの日本語初級Ⅱ 42課 ～ために、～ ～は～のに、～ ～のに～かかります 「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.上下・親疎の関係をわきまえた授受表現を使うことができる。 2.丁寧な依頼ができる。 1.行為の目的や目的を達成するためにすることを表明できる。 2.物の用途、評価が述べられる。 3.何かをするのに必要な時間、経費が言える。
		7週	みんなの日本語初級Ⅱ 43課 ～そうです(様態) ～て来ます みんなの日本語初級Ⅱ 44課 ～すぎます ～やすい/～にくいです ～く/～にします ～く/～に～ 「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.物事の外観から、その変化の見通しや状態・性質を推察して表現できる。 2.目的の行為を終えて、元の場所に戻ることが伝えられる。 1.動作や程度が度を越し、好ましくない状態になったことが言える。 2.物を使用する際の難易度を示すことによって、その物の評価が表せる。 3.自分の選択、決定を伝えることができる。

4thQ	8週	みんなの日本語初級Ⅱ 45課 ～の場合は、～ ～のに、～  みんなの日本語初級Ⅱ 46課 ～ところです ～たばかりです ～はずです  「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.ある事態を想定し、その対処のし方を述べるができる。 2.期待外れの結果に対する話し手の意外感や不満の気持ちを表すことができる。 1.動作の段階を述べることによって、事態や状況を説明することができる。 2.動作が終了してからあまり時間が経っていないという気持ちを表すことができる。 3.話し手が確信していることが述べられる。
	9週	みんなの日本語初級Ⅱ 47課 ～そうです ～ようです  みんなの日本語初級Ⅱ 48課 ～を～（さ）せます ～に～を～（さ）せます ～（さ）せていただけませんか  「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.ほかから得た情報をそのまま伝えることができる。 2.自分の五感でとらえたその場の状況から判断されることが述べられる。
	10週	みんなの日本語初級Ⅱ 49課 50課 ～（ら）れます お～になります 特別な尊敬語 お～ください お／ご～します 特別な謙讓語 丁寧語  「新完全マスター文法 日本語能力試験N3」「新完全マスター読解 日本語能力試験N3」	1.他者（下位の者）への行為の強制や許可・容認を表すことができる。 2.丁寧に許可を求めることができる。  1.「上下」「親疎（ウチ・ソト）」の人間関係に基づく尊敬語の表現を理解し、適切に使うことができる。 2.「上下」「親疎（ウチ・ソト）」の人間関係に基づく敬語全体の体系を理解し、謙讓語を適切に使うことができる。
	11週	4技能でひろがる中級日本語カルテット1 第1課	中級前期レベルの日本語能力をバランスよく伸ばす。
	12週	4技能でひろがる中級日本語カルテット1 第2課	中級前期レベルの日本語能力をバランスよく伸ばす。
	13週	4技能でひろがる中級日本語カルテット1 第3課	中級前期レベルの日本語能力をバランスよく伸ばす。
	14週	4技能でひろがる中級日本語カルテット1 第4課	中級前期レベルの日本語能力をバランスよく伸ばす。
	15週	まとめ	これまでの学習を振り返り、今後の学習につなげる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	出席状況	学習態度 授業時間内の発言回数	宿題と各課終了ごとの確認テスト 日本語能力試験の合否	合計	
総合評価割合	30	30	40	100	
基礎的能力	30	30	40	100	